

化石の泪

松下 幹生

泪を 泪を かき集め
遠くへ 遠くへ 棄てに行く
あの日の事を 忘れ去る為
波間を越えて 南の島に
私は一人 たった一人で デッキに佇み
去り行く波を 散り行く波を
風に吹かれて 見つめる私

カモメが カモメが 並び飛ぶ
あいつの 未練は 捨てちまえ
あの日の事を 忘れ去る為
神戸港から 旅立つ事に
一人私は 一人っきりの 見知らぬ島で
去り行く過去を 戻れぬ過去を
見詰め直して 出直す私

岬に 佇み 足元に
泪の 結晶 (かけら) を 深く埋め
ず〜っと永遠 (とわ) に 地中に埋もれ
やがて化石に なることでしょう
そしてきっぱり 過去を投げ捨て しがらみ捨てて
心機一転 明日に向け起 (た) つ
未来に向けて 翔び立つ私